

安全かつ快適な移動を実現するための道路整備

～市町村合併支援道路事業など地域内の拠点等を効率的に連絡する道路整備により、日常生活の中心となる都市まで30分以内で安全かつ快適に走行できる人口(安定到達人口)が約60万人増加～

(1) 取組みの背景と必要性

日常生活に必要な移動の確保

日常生活で都市機能を楽しむために中心となる都市へ移動する際の渋滞や、すれ違いが困難な区間の存在は、日常的な移動の安全性や快適性を損ない、地方部の生活に影響を与えている。

このため、地域内の拠点等を効率的に連絡する道路整備が必要となっている。

(2) 達成度報告と業績計画

安定到達人口が約60万人増加

平成17年度の安定到達人口の増加は約60万人と、目標の約80万人に対し、約8割の達成度に留まった。厳しい財政状況等により、地方の事業量が減少し、目標達成に必要な路線の供用に一部遅れが生じたためと考えられる。

目標達成に向け、効率的な事業実施を図る

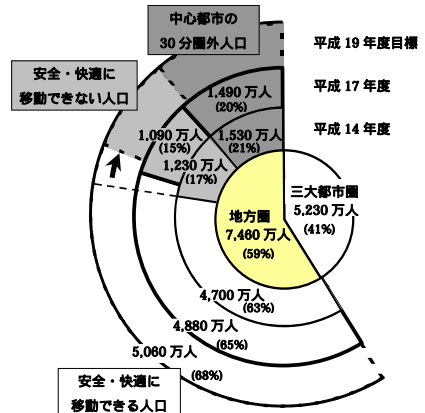
平成18年度も引き続き、1.5車線の道路整備の積極的な採用等による効率的な事業や、市町村合併支援道路整備など地域内の効果的なネットワークの形成に寄与する事業を推進する。

(3) 代表的な指標の動向

ブロック別の安定到達率

安定到達率(日常活動圏人口に対する安定到達人口の割合)の増加が大きいブロックは、北陸、近畿、四国、沖縄であった。(二次生活圏が設定されている地域のみが指標の対象)

平成19年度の目標値(安定到達率68%)の達成に向け、平成18年度は67%に向上することを目標とする。



【中心となる都市まで安全・快適に移動できる人口の状況】

| H16実績 | H17目標 | H17実績 | H18目標 | H19目標 |
|-------|-------|-------|-------|-------|
| 65% | 66% | 65% | 67% | 68% |

【ブロック別の安定到達率の増加】

| ブロック | 日常活動圏人口(万人) | 平成16年度 | | 平成17年度 | | 増加 | |
|------|-------------|------------|-------|------------|-------|------------|-------|
| | | 安定到達人口(万人) | 安定到達率 | 安定到達人口(万人) | 安定到達率 | 安定到達人口(万人) | 安定到達率 |
| 北海道 | 567 | 414 | 73.1% | 419 | 74.0% | 5 | 0.8% |
| 東北 | 981 | 630 | 64.2% | 637 | 64.9% | 7 | 0.7% |
| 北陸 | 471 | 304 | 64.6% | 309 | 65.7% | 6 | 1.2% |
| 関東 | 1,396 | 850 | 60.9% | 860 | 61.6% | 10 | 0.7% |
| 中部 | 851 | 533 | 62.6% | 537 | 63.2% | 5 | 0.6% |
| 近畿 | 598 | 384 | 64.2% | 390 | 65.1% | 6 | 0.9% |
| 中国 | 767 | 464 | 60.5% | 468 | 61.0% | 4 | 0.5% |
| 四国 | 412 | 261 | 63.4% | 266 | 64.6% | 5 | 1.2% |
| 九州 | 1,305 | 900 | 69.0% | 910 | 69.8% | 10 | 0.8% |
| 沖縄 | 119 | 79 | 66.7% | 82 | 69.3% | 3 | 2.6% |
| 合計 | 7,467 | 4,820 | 64.5% | 4,879 | 65.3% | 60 | 0.8% |

平成17年度の施策の事例「市町村合併支援事業」

平成17年3月3日に大分県佐伯市郡9市町村の合併により新佐伯市が誕生した。

H17年度の整備効果

旧鶴見町と旧佐伯市を結ぶ合併支援道路である一般県道梶寄浦佐伯線の供用(H17.12.26)により、佐伯市東部から佐伯市中心部へのアクセスが向上した。(3.2km 1.1km、6分短縮)



担当：道路局 地方道・環境課